

九州森林管理局交渉（全国林野関連労働組合九州地方本部九州森林管理局分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和7年12月23日（火）17時20分～18時15分

2 場 所 九州森林管理局内会議室

3 出席者

九州森林管理局	山添 晶子	総務企画部長
同	篠村 和希	総務課長
同	迫畑 啓逸	総務課課長補佐（総務）
同	清田 誠	総務課課長補佐（福利厚生担当）

林野関連労働組合九州地方本部

九州森林管理局分会	後藤 一哉	委員長
同	坂田 恵	副委員長
同	吉田 貴博	副委員長
同	平松 大志	書記長
同	小原 豊治	執行委員
同	児浦 悠斗	執行委員

4 交渉事項

- （1）職員の超過勤務縮減について
- （2）職場環境の改善について

5 交渉概要

（当局）

ただいまより、先般申し入れのあった交渉を開始する。あらかじめ交渉時間、交渉項目等について予備交渉を行っているので、それに基づき進行をお願いします。

（職員団体）

前回の交渉で、今年度の選考採用者が数カ月特定業務の指定を受け、月45時間以上の超過勤務を強いられたことから、改善を要望したが、8月以降具体的にどのような対策を行ったのか。

（当局）

超過勤務時間の縮減等、勤務時間の短縮については、職員の心身の健康保持及びゆとりある生活の実現等の観点から、重要な課題であると認識しているところである。

8月以降は、

- ・10月1日付で空席だった経理第一係長の配置
- ・総務課及び経理課職員の育休等取得に伴い、代替職員の配置

を行った。

引き続き、毎月の超過勤務の実施状況をチェックして、業務分担の見直し、応援体制や非常勤職員等の有効活用を図ってまいりたい。

(職員団体)

局内組合員にアンケートを取ったところ、職場内のコミュニケーションに問題があると感じている者が多くいた。

口頭で打ち合わせすべき事や細かい内容の指示をメールで済ませるなど、相手に伝わっているか確認していないのではないかと。

また、業務内容をよく理解できていない職員が増えているという意見も多くあった。

(当局)

コミュニケーションについての指摘は、管理職から職員に対しての業務指示の在り方についてと思われる。

業務を進める上でのコミュニケーションの重要性について、新任管理者打合せ等の機会に指導してまいりたい。

なお、受け手側も内容を確認するなど効率的な事務となるようご協力をお願いする。

また、研修等を通じて職員の能力向上を図ってまいりたい。

(以上)